

所要時間 90分

問 通学バス運用は危険性を重視して柔軟な対応を

答 諸問題を含めて前向きに検討していきたい

体育施設の充実と部活への更なる支援を

問 昨夏の多古高野球部の大活躍は、未だ記憶に新しいところ
です。

その中に多古出身者が多く在籍していることは、OBとしてはもちろん、行政の一端を担う者として大変な誇りであり、大きな責任を真に感じ行動せねばなりません。

高校の部活動の発展は中学から、中学の発展は小学生時のクラブチームでの活動や学校活動、更には、その全ての部活動の中で育まれた絆が発展の源であります。

また、学業を離れてからも、その活動をライフワークとして楽しんでいる町民の方々も多くおられます。このようなことから、本町施設の充実と、学校教育における活動への更なる支援を、お願いするものです。

教育長 社会体育施設につきましても、全般的に整備や改修の遅れが課題となっており、利用

通学バスへ柔軟な対応を

問 毎日とも思えるほど通学時に受傷されたり、亡くなられる等、痛ましい事故が全国で発生しています。このような事が無いよう、最大限の配慮をお願いします。

また、現在運用されている第一小学校の通学バスは、児童の減少などにより定員を下回っている現状であり、重大な危険箇所が多くある地区の児童を、通学バスへ同乗させていただきたく、お尋ねをします。

教育長 通学路点検を契機に、各方面で安全対策を実施し

ていただいています。危険箇所のない理想の環境を目指して、今後も引き続き整備していただくよう、お願いします。

また、緊急点検の結果及び今後の点検結果に対する対応策を見ながら、通学路の見直しや可能性を探り、水戸地区のバス乗車については早急に検討したい、危険性を重要視し、現行ルートを変更しないで同乗してもらうとか、定員等の諸問題を含め、前向きに考えていきたいと思えます。



無事に帰って来てほしい、それが家族の願いです

田んぼアートで集客効果の向上を

問 田んぼアートを提案します。このイベントは、デメリットは少なからずありますが、あじさい祭りからコスモス祭りの間を埋めるに余りある期間と、集客効果があること、道の駅周辺で行うことであじさい館の売上げ向上、更には、刈り取った米を自然志向商品として、昇華し発売する等、2次・3次の波及効果も大きく期待できるイベント力があると思えます。

町長 観光資源として考えますと、大規模に行う必要があり、適地の選定等も地域の農業者や住民等の理解と協力がなければなりません。観光を含めこれからの活性化策を考えてみたときに、生産者が主体となる地域主導と地域提案の取り組みが重要であると考えます。田んぼアートによる集客、地域活性化についてもそのように実施できるのであれば、行政としても、検討していきたいと思えます。



勝又一徳 議員

所要時間 51分

問 空き施設を障害者福祉施設へ

答 検討の余地はあると思います

就労支援の現状は

問 総合計画の中にも障害者福祉の充実、障害者計画では自立し地域で共に生活できる社会の実現と大きく掲げていますが、就労支援の現状は。

町長 対象の民間事業主は6社で、そのうち法定雇用率2・1%を満たしているのは4社です。

問 障害者自立支援法の中で、地域の限られた資源の活用に向け規制の緩和を図っています。子ども園開園により幼稚園、保育所計7カ所の空き施設が発生しますが、施設の今後の再利用計画、障害者福祉施設への提供及び設立に向けての積極的な協力への考えは。

教育長 施設再利用に関しては、今年2月に役場の内部組織として施設利用検討委員会を立ち上げ検討を進めています。基本的には施設の維持管理に係る費用削減の

為に売却、貸し付け、譲渡の処分を前提としています。提供に関しては地元の意向等を酌んだ上で、施設の処分先としての検討の余地はあると思えます。施設の管理運営にかかわる費用は、提供を受ける施設管理者に負担をいただくことを前提としています。

問 先日、芝山のやすらぎの里にある福祉作業所に伺ったところ、多古町から1名の方が通所されていましたが、担当者の方の説明では、現在10名で定員一杯とのこと。来年度に芝山町から入所希望者があった場合には、多古の通所者に遠慮してもらうことになるとの説明を受けました。町としてそういった施設を全面的にバックアップして作る気持ちはありますか。

町長 地域自立支援協議会で具体的にどうすべきかを詰めていただきたい、町としての考え方を整理していきます。

問 5月に障害者保護者会「スマイルバスの会」が、町長宛に

福祉施設設立への要望書を提出していますが、半年の経過を経て考えは。

町長 地域自立支援協議会で協議していますので、町が今どうするというのがまだ達していない状況です。

問 親御さんにとっては、26年の空施設を頼りに1年でも早く、痛切な思いで要望書を提出しています。検討委員会では何年後をめどにしていますか。

保健福祉課長 地域自立支援協議会からは、このようなサービスが行える施設がよろしいという意見を、今年度中に町へ出していただけるものと予定しております。

わあーかちーと活用の

問 「わあーかちーと」の現在の利用状況と今後の活用提案や定着した行事等の計画はありますか。

町長 10月中の利用者は923名で、年度当初から倍増し



昨年4月にオープンした「わあーかちーと」(仲町)



菅澤 環 議員

ています。現在いきいき元氣塾やひかり学園の作品販売等です。今後の事業は、運営協議会に委ね協議しながら進めていきます。

問 月8万円の家賃と駐車料金が今後の町の方針は。

保健福祉課長 自発的な利用を拡大していくという趣旨での施設設置であり、運営協議会に諮りながら運営努力していきます。